

## 公表

# 第59回技能五輪全国大会「和裁」職種

## 競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、競技時間内に付下げ女子用あわせ長着を仕立てなさい。

1 競技時間 9時間

2 注意事項

- (1) 統一材料を使用し、仕立て寸法規定に従うこと
- (2) 特殊加工（ガード加工など）はしないこと
- (3) 用工具等は「使用工具等一覧表」で指定したもの以外は、使用してはならない。  
ただし、障害がある場合は、その程度に応じて必要とする工具等の使用を認めるので、事前に全国和裁着装団体連合会 03-3816-1858 に連絡すること。  
当日の申告は不可とする。
- (4) 競技中は、工具等の貸し借りを禁止する。
- (5) 競技開始前に、針に糸を通してはならない。
- (6) 作品をたたみ上げた時点をもって作業終了とする。
- (7) 競技終了時刻になった旨を知らされた場合は、直ちに作業をやめ、競技委員の指示に従うこと。
- (8) 作業時の服装等は、作業に適したものであること。
- (9) 競技エリアの絨毯内は土足厳禁とする。
- (10) 以上の注意事項に基づき、怪我のないよう十分注意して作業をすること。

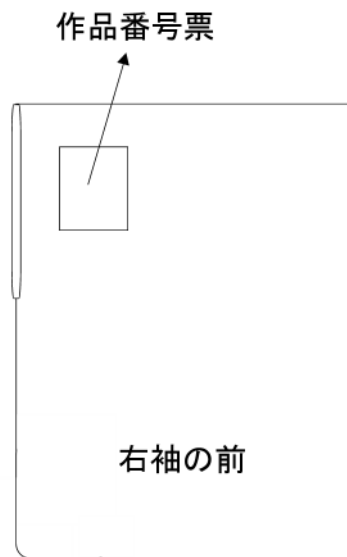
### 3 仕 様

・仕立て寸法	身丈・・・背から4尺2寸
	袖丈・・・1尺3寸
	衿・・・1尺7寸5分
	袖巾・・・9寸
	袖付・・・6寸
	袖口・・・6寸
	後巾・・・8寸
	前巾・・・6寸5分
	抱巾・・・6寸5分
	衽巾・・・4寸
	合襖巾・・・3寸8分
	繰越・・・5分
	襖下・・・2尺1寸
	その他の寸法は標準寸法に準ずる

- (1) 事前に縫い上げておく箇所は、次のとおりとする。  
右そで、えり先布と裏おくみのこはぎ、裏は胴裏、裾回し（八掛け）胴はぎまで（胴裏の背縫いは自由とする）。
- (2) 競技会場で行うものは、次のとおりとする。  
左そでと表身ごろ、裏身ごろの前幅のしるし付け（へら付け）をし、おくみ付けから仕上がりまで。※事前に身ごろに前幅のしるし付け（へら付け）をしてはいけない。
- (3) えりは、表裏別縫いとし、えり先は本止めとすること。ただし、えり先縫い代を表裏のおくみではさむ。
- (4) 共えりは、別がけとする。ただし、くけは束ぐけでもよい。
- (5) そで口布は、回しがけとする。  
※事前に口布を付けるためのしるし付け（へら付け）をしてきてはいけない。
- (6) 共えり及びつま下（えり下）のしつけは、事前に行ってきたてはいけない。
- (7) しつけの種類は自由とする。
- (8) 三つえり芯の長さは8寸（30cm）以内とする  
※三つえり芯を付けてきてはいけない。
- (9) 競技終了後のおもしはしてはいけない。
- (10) 裏えり、胴はぎの縫込みは、止めても止めなくてもよい。ただし、他の縫込み（裾も含む）は止めてはいけない。
- (11) 耳がつれる理由での切り込みはよしとする。ただし、耳を切り落としてはいけない。切り込みの深さは1分5厘までとする。

**注：原則的にすべての箇所についての幅のしるし付け（へら・チャコ等）、折り（スジ等）はしてきてはいけない。（表裏のおくみ付けるしるし、肩山の折、えりの流れのしるしは自由とする。）**

作品番号票は、下図に示す位置に取れないように縫い付けること。ただし、縫い付ける時間は競技時間外とする。



#### 4 支給材料

付下げ表地・八掛・胴裏

#### 5 採点項目等

採 点 項 目		配 点
作品採点	仕 様 誤 り	100
	で き ば え	
作 業 態 度		

**公表****第59回技能五輪全国大会「和裁」職種****持参工具等一覧表**

選手が持参するもの(数量欄は、特にことわりのない限り選手1人当たりの数量を示す)。

区分	品名	規格	数量	備考
材 料	表地	事前に配付した材料を持参のこと	1枚分	仕様どおりに事前に裁断縫製したもの
	裏地	事前に配付した材料を持参のこと	1枚分	仕様どおりに事前に裁断縫製したもの(通し裏は使用できない)
	三つえり芯		適宜	
	すそ芯又はふきわた		適宜	
	糸		適宜	
工具	コテ釜 コテ(2本使用可)		1台 1、2本	

注意 その他、必要だと思われる裁縫用具一式を各自持参すること。ただし、「アイロン(ベビーアイロンを含む)」、「霧吹き等他人に迷惑をかける恐れのあるもの」の持込みは禁止する。

**公表****第59回技能五輪全国大会「和裁」職種****競技会場設備基準**

競技会場に準備してあるものは、以下のとおり。

品名	規格	数量	備考
裁ち板	180cm×45cm×4.2cm	1枚／1人	足台の高さは15cmないし25cmである。
作品番号票	10cm×5cm	1枚／1人	
座布団		1枚／1人	

**公表****第59回技能五輪全国大会「和裁」職種****採点基準**

## 1. 採点項目等

採点項目		配点
作品採点	仕様誤り	100
	できばえ	
作業態度		

## イ) 仕様誤り

- 衿先が本止めになっていないもの
- 袖口布が回しがけになっていないもの
- 三つ衿芯の入っていないもの
- 白針になっているもの 1目につき減点
- 引き糸が付いている場合、1箇所につき減点

## ロ) できばえ

- 袖口・口下・丸み
- 袖丈・袖巾・振り
- 袖付け・身八つ口・衿のつりあい
- 表・裏直線縫い 身巾のつり合い
- 身頃の立てとじ かぶり
- つま・裾ぶき
- つま下
- 表衿つけ・共衿つけ
- 裏衿つけ・衿とじ
- 衿くけ・衿先
- 上前のおくみ付け（模様合わせ）
- コテ光り、焼けこげ、しみ等

## ハ) 作業態度（不安全行動）

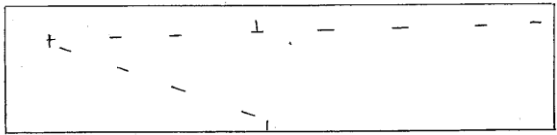
## 2. 採点方法

- イ) 競技委員の水準調整として、2枚以上の作品を見て水準の統一を図る
- ロ) 競技委員が各項目を採点し、合計点の高いものから順位を決定する

## 3. 失格要件

- イ) 作品に残針があった場合
- ロ) 左右の袖付け違い
- ハ) 未完成品

◆第59回技能五輪全国大会「和裁」職種 Q&A

No.	質問	回答
1	<p>競技課題P2の3 仕様(1)では表地について表記されていませんが、(2)会場で行うもので『左そでと表裏おくみ付けから仕上がりまで』となっています。表地も脇まで縫い上げておくのでしょうか。</p>	<p style="text-align: right;"><b>※10/4回答修正</b></p> <p>競技課題P2「3 仕様(2)」を以下のとおり訂正いたします。  「競技会場で行うものは、次のとおりとする。  左そでと表身ごろ、裏身ごろの前幅のしるし付け(へら付け)をし、おくみ付けから仕上がりまで。  ※事前に身ごろに前幅のしるし付け(へら付け)をしてはいけない。」</p> <p>よって例年通り、表地は事前に縫製する箇所はございません。</p>
2	<p>競技課題P2の注で『表裏のおくみ付けるしるし〜は自由』とありますが、以下のように印をつけても良いということでしょうか。</p> 	<p>その通りです。</p>
3	<p>競技課題P2の注のうち「表裏のおくみ付けるしるし」について、おくみを縫うときの、おくみのしるし(へら・チャコ等)を細かくして良いのでしょうか。</p>	<p>ご指摘の箇所について、しるしとしるしの間隔は6cm以上空けてください。(間隔が6cm以下は禁止。)</p>
4	<p>競技課題P2の注のうち「衿の流れのしるし自由」について、衿を縫うときの、表裏共、おくみに流れを書いて良いのでしょうか。</p>	<p>ご指摘の箇所について、書く(通しべら)ことは禁止です。(しるしの間隔についてはNo.3と同様。)</p>
5	<p>競技課題P2の注のうち「衿縫いのしるし付け」について、表裏身頃の衿肩からおくみ下がりのしるし(へら・チャコ)はして良いのでしょうか。</p>	<p>ご指摘の箇所についてのしるしは認めます。(しるしの間隔についてはNo.3と同様。)</p>